

令和2年度第2回高知西病院地域協議会 議事概要

【構 成 員】	(行政)	川内 敦文	(高知県健康政策部医療政策課 課長)
		池 堤	(高知市健康福祉部地域保健課 課長)
	(医師会)	野並 誠二	(高知県医師会 副会長)
		藤井 貴章	(高知市医師会 理事)
	(関係医療機関)	先山 正二	(国立病院機構高知病院 院長)
	(利用者)	土居 怜子	
	(高知西病院)	山田 光俊	(院長)
		梶谷 充	(副院長)
		中路 達也	(事務長)
		原 いつみ	(看護部長)
		川村 佐知	(副看護部長)

【開催日時】 令和3年3月4日 (木) 13:00～14:00

【開催場所】 独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院 健康管理センター 1階小会議室

- 【議 題】
1. 当院運営実績（経営状況）について
 2. 令和2年度決算見込みについて
 3. 令和3年度事業計画について
 4. 看護部門の活動状況について
 5. COVID-19ワクチン先行接種取組状況について
 6. その他

【出 席 者】

(行政)	高知市地域保健課・池課長
(医師会)	高知市医師会・藤井理事
(関係医療機関)	国立病院機構高知病院・先山院長
(利用者)	土居 怜子
(高知西病院)	山田院長、中路事務長 原看護部長、川村副看護部長 豊永事務長補佐（総務企画）

【概 要】

1. 当院運営実績（経営状況）について

令和3年3月現在の病院運営状況（施設基準届出状況、職員数、患者数、健診運営状況（R3.2月迄）、収支状況（R3.1月まで）等）について説明する。

新しい取り組みとして、下肢静脈ケア外来（第1・3木曜日）を新設したこと、令和2年7月より感染防止対策加算1を取得したことを説明する。

新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者は減少、外来患者も減少しているが、健診については今年度半ばから回復してきている。

2. 令和2年度決算見込みについて

令和2年度の決算見込みについて説明する。12月までの実績をもとに1月から3月までを推計し、令和2年度決算見込みを作成した。内容について説明する。

患者数の減少により、収益は減少している。費用については、給与費は職員数に変更はないので大きく変わらないが、患者数の減少により、医薬品費・材料費は減少している。

【質疑応答】

教育業務収益とは、どのようなものが該当するか。

また看護実習の受入の収益はどこに計上されるか。

→教育業務収益は看護学校等を運営している場合に使用する科目である。

看護実習等の収益は診療業務収益（その他）に計上される。

この決算見込みには新型コロナウイルス感染症の補助金は計上されているのか。

→補助金はあるが、現在は確定したもののみ計上している。

3. 令和3年度事業計画について

令和3年度の事業計画について説明する。（経営方針、具体的取組、計画作成方法等）患者数については、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考え平均的な月の患者数より平均値を出し医師の増加など加味できる要件を考慮し算出した。

費用については、電子カルテの導入、CTの更新等を予定し算出したため設備関係費が増加している。

【質疑応答】

回復期リハビリテーション病棟のコロナの影響は急性期病棟と比較してどうであったか。

→回復期リハビリテーション病棟も患者数は若干下がったが、急性期とくらべるとそれほど影響はなかった。

理学療法士が定数を割っているが、今後の確保の見通しはどうか。

→欠員については、育児休業であり復帰してくるので、短期の雇用となり補充が難しい。

言語療法士については、回復期リハビリテーション病棟は現在、整形外科の患者が多くを占めているため現状で充分と考えている。

救急の受入について、数字の推移をお示しいただきたい。

→救急については月20名前後受け入れており増加してきている。

救急医療情報センターからの受け入れなど時間外診療は年間700～800名を受け入れしている。

現在は内科当直の日は整形外科医が午後9時まで待機し、受入を行う取り組みも行っている。

4. 看護部門の活動状況について

2020年度の健康管理センター 保健師の取組について説明する。

がん検診の受診率の向上、保健指導の実施状況、健康教室への取組について説明する。

【質疑応答】

新型コロナウイルス感染症の企業健診への影響はどうであったか。

→健診にも影響はあった。4～5月は検診を中止した時期もあり大きく減少した。

胃カメラ、肺機能検査の中止もあったが6月以降は戻ってきている。

5. COVID-19ワクチン先行接種取組状況について

新型コロナウイルスワクチン先行接種取組状況（会場準備、実施手順、先行接種調査内容、副反応の状況）について説明する。また、Web会議（情報交換会）の企画を提案する。

【質疑応答】

Web会議の参加対象はどう考えているか。

→連携医療機関はもちろんですが、保健所等行政の参加もお願いできればと考えている。

開催方法等についてもご相談したいと思っている。

6. その他（ご意見等）

○COVID-19ワクチン接種について

(当院) 接種に対する一般の方の不安を取り除くためにも情報公開したいと考えている。
また、接種にあたって一般の方へのお知らせ等も行っていただきたい。

(出席者) 広報は大切と考えている。また、診療を行いながらワクチンの接種を行う医療機関の負担を軽減するよう取り組んでいく。

(当院) 県が医療従事者接種、市が住民接種を行うと聞いているがその他の役割はどうなっているのか。

(出席者) 県と市が役割分担を行っており、市は住民接種の調整のため予約調整など、県は広域調整としてコールセンターの設置など行っている。
予約システムも導入予定でありバーコードの読み取りによりサイトにアクセスし予約もできるように進めている。電話での予約も可能である。